

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和07年10月17日

計画の名称	羽生市における循環のみちの実現第2期（重点計画）												
計画の期間	令和02年度～令和06年度（5年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	羽生市												
計画の目標	下水道整備を行い、安心・安全、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	1,010	A	1,010	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 R2	中間目標値 R4	最終目標値 R6
1	汚水処理人口普及率を82%（R2）から87%（R6）に増加させる。 汚水処理人口普及率 汚水処理人口（人） / 行政人口（人）	82%	85%	87%
2	下水汚泥を安定的に処理する機能を50%（R6）から100%（R8）に上昇させる。 重力濃縮槽・機械濃縮機設置数 設置済数 / 必要な設置数（各2基）	50%	50%	50%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R02	R03	R04	R05	R06			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	羽生市	直接	羽生市	管渠(汚水)	新設	羽生第1・第2幹線枝線整備事業	L=7,350m、実施設計・工事	羽生市						980	-	
	A07-002	下水道	一般	羽生市	直接	羽生市	終末処理場	新設	羽生市水質浄化センター汚泥処理設備増設事業	重力濃縮槽・機械濃縮機 各1基増設の設計	羽生市						30	-	
												小計					1,010		
												合計						1,010	

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
羽生市下水道事業審議会において、事後評価を実施。	令和7年10月
	公表の方法
	ホームページに掲載
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・（指標）汚水処理人口普及率が目標を上回り92%になりました。</li> <li>・（指標）重力濃縮槽及び機械濃縮機の設置に向けた設計が完了しました。</li> </ul>
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・（指標）汚水処理人口普及率100%を目標として、引き続き整備を進めます。</li> <li>・（指標）令和7年度から工事着手予定です。</li> </ul>	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	最終目標値	87%
	最終実績値	92%
2	最終目標値	50%
	最終実績値	50%